

積水住宅機器株式会社／営業所一覧表

- 仙台営業所 仙台市一番町2-1-1(振興相互銀行ビル) 〒980
☎0222(67) 3301
- 盛岡営業所 盛岡市美園1-11-3(第2橋本ビル) 〒020
☎0196(24) 0806
- 東京営業所 東京都新宿区西新宿2-1-1(新宿三井ビル) 〒160
☎03(347) 9156
- 横浜営業所 横浜市神奈川区鶴居町25-2(三井生命横浜ビル) 〒221
☎045(311) 6667
- 新潟営業所 新潟市東大通り1-2-23(北陸ビル) 〒950
☎0252(44) 9261
- 長野営業所 長野市南石堂町1282(長栄ビル) 〒380
☎0262(26) 6510
- 静岡営業所 静岡市細巻町3-10(中島屋ビル) 〒420
☎0542(54) 4421
- 名古屋営業所 名古屋市中村区名駅4-7-35(毎日名古屋会館) 〒450
☎052(583) 3230
- 大阪営業所 大阪市北区西天満2丁目4番4号(堂島関電ビル) 〒530
☎06(365) 3496
- 京都営業所 京都府下京区四条通新町東入月鉢町62(住友生命京都ビル)
☎075(211) 8461
- 姫路営業所 姫路市北本町126(住友生命ビル) 〒670
☎0792(24) 3531
- 和歌山営業所 和歌山市美園町5-2-5(大阪周辺券ビル) 〒640
☎0734(22) 8181
- 岡山営業所 岡山市駅前町1-8-1(和光証券ビル) 〒700
☎0862(22) 0651
- 金沢営業所 金沢市此花町6-10(金沢ビル) 〒920
☎0762(31) 4244
- 広島営業所 広島市細田町4-1(住友生命ビル) 〒730 広島ビル
☎0822(64) 5351
- 鳥山営業所 鳥山市若山1-21(クレンソット鳥山ビル) 〒745
☎0834(31) 0804
- 松江営業所 松江市東朝日町136(松江石油本社ビル) 〒690
☎0852(26) 6800
- 高松営業所 高松市寿町1-4-1(第一生命ビル) 〒760
☎0878(22) 1101
- 松山営業所 松山市波除町6-2(松山電気ビル) 〒790
☎0899(41) 2411
- 福岡営業所 福岡市博多区細場町1-1(第一生命ビル) 〒812
☎092(221) 1455
- 根本営業所 佐本市辛島町5-1(日本生命熊本ビル) 〒860
☎0963(22) 3811
- 鹿児島営業所 鹿児島市新星敷町16番21号(県公社ビル) 〒892
☎0992(23) 9456
- 札幌営業所 札幌市中央区北一条西3(札幌三和ビル) 〒060
☎011(281) 3311
- 企画室 大阪市北区西天満2(堂島関電ビル) 〒530
☎06(365) 2272

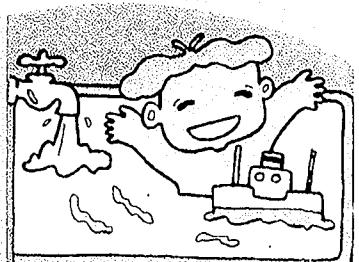
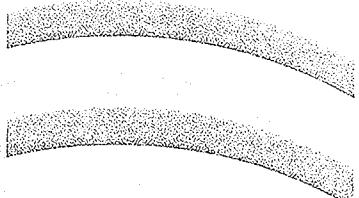
■販売店名

セキスイ 自動電気温水器

MS-30E MS-37E2 MS-46E

*ご愛用者のしあり

ご使用前に、この「しあり」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
「しあり」と「保証書」は大切に保存してください。



セキスイ

積水住宅機器株式会社

このたびは、セキスイ電気温水器をお買上げいただき、ありがとうございます。

●保証書は購入店からお受取りいただきましたでしょうか

未だお受取りでない場合→購入店へご請求ください。

購入店ご不明の場合→最寄りの当社営業所へご連絡ください。

(営業所所在地はこの「しおり」の裏にのせてあります)

保証書は、セキスイ電気温水器の顧客名簿として、当社にも保存され、後々の保守・維持管理（アフターメンテナンス）を適確に行なう為のカルテになります。

●「ご愛用者のしおり」をよくお読みください。

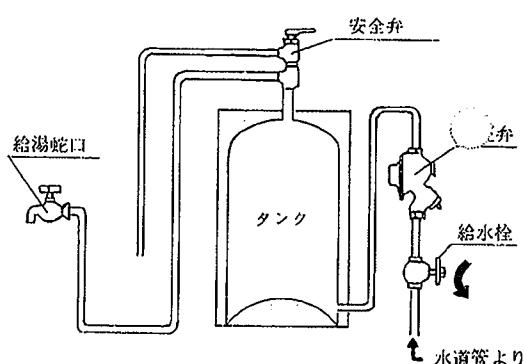
この「しおり」は、セキスイ電気温水器を上手に、末長くお使いいただくための参考書です。

ご不明なことがございましたら、最寄の当社営業所へご連絡ください。

■電気温水器の仕組み

温水器に水が入るまで

■ 水道管に接続された給水栓を反時計方向に廻して開くと給水が始まります。

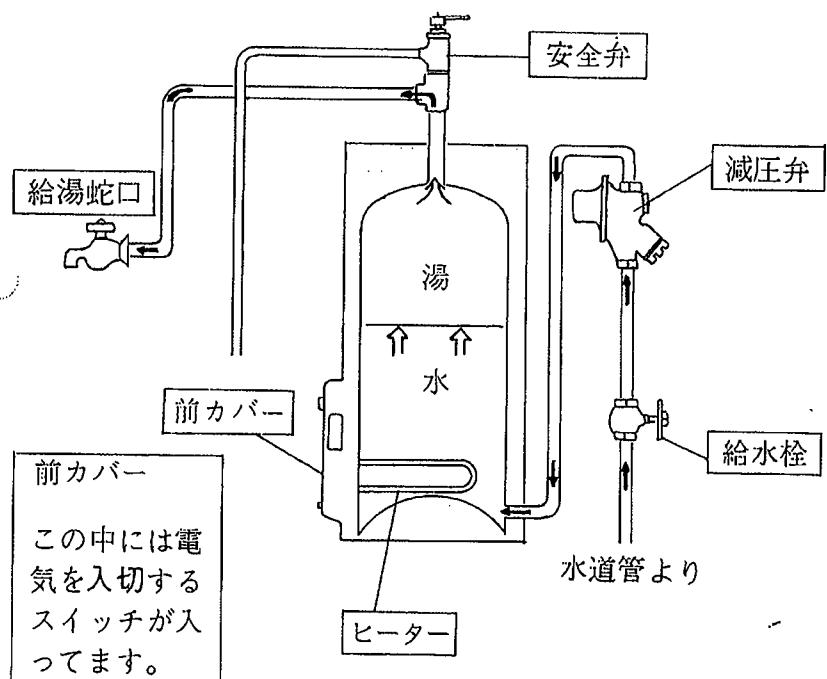


■ 給水栓の上の減圧弁で一定の水圧に調節され、タンクの下部より静かに給水されます。

■ 給湯蛇口を開いて水が出てくればタンク内は満水状態です。

※給湯蛇口を開いてお湯を使うと、タンク内へは使った分だけ自動的に給水されます。

■お湯が沸く仕組み



タンク内を満水状態にして

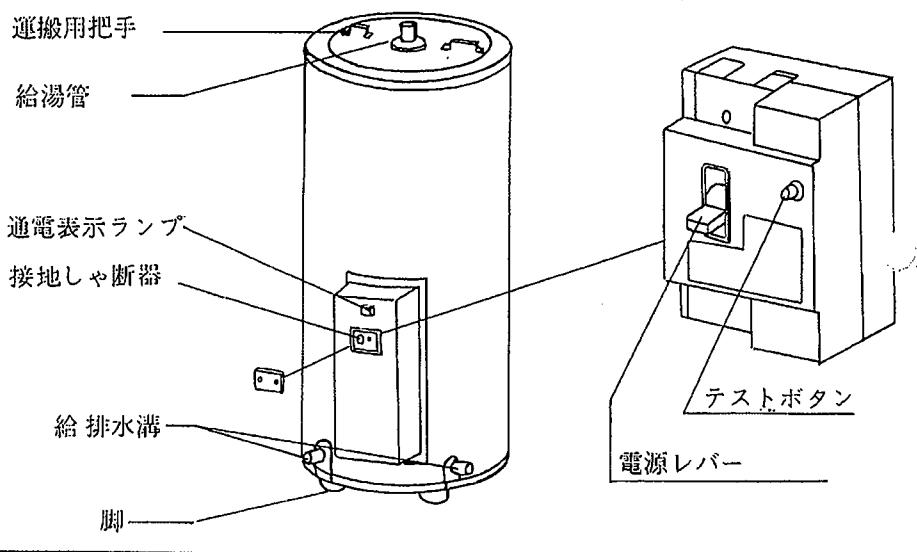
■ 夜11時に電気が送られてくると（接地しゃ断器を「ON」にしておく）通電表示ランプが点灯し、タンクの中のヒーターが働き始めます。

■ ヒーターの働きでお湯が沸きますが、お湯の温度が約85°Cになると、自動的に電気が切れるようになっております。

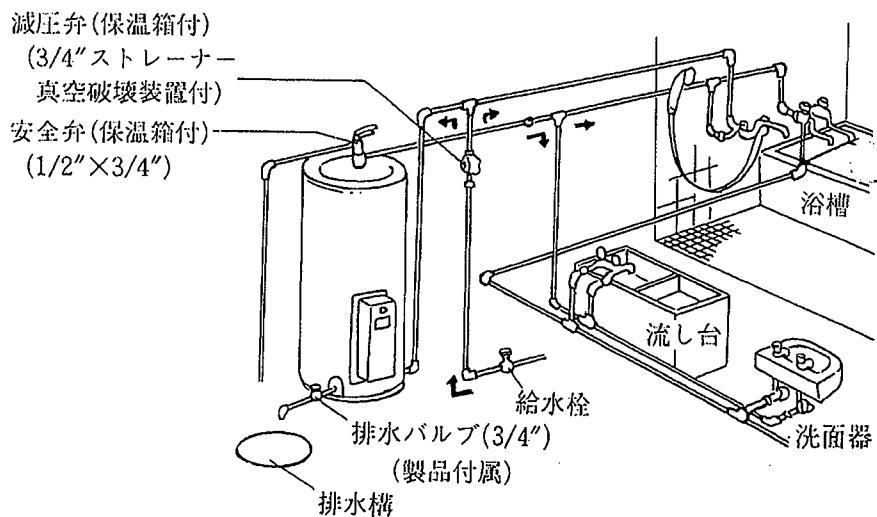
■ 朝7時になると通電は止まり、沸き上ったお湯は、タンクの中で貯えられます。（沸いたお湯はさめにくい構造になっています）

※ 夜11時から朝7時までの通電中加熱時の水の膨脹が起りますが、これは温水器の上に接続された安全弁から排出されます。（約10~13ℓ）

■各部の名称配管例図



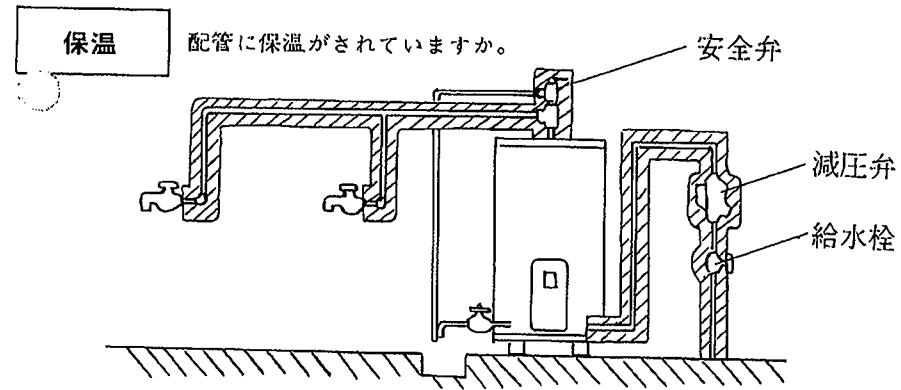
■配管例図



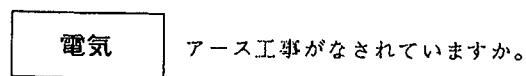
- 3 -

■ご使用方法

お引き渡しの前に配管、電気配線の点検及び試運転は完了しています。
ご使用の前に次の点をご確認ください。
なおご不審な点がございましたら工事店にお問い合わせください。



斜線で囲んだところは必ず保温しておかなければなりません。



- 4 -

始動の手順

■

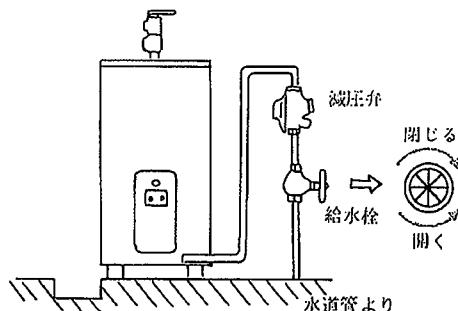
温水器の中が満水かどうかお確かめください。

温水器から配管されたお風呂や台所の給湯蛇口（カラン）を開き水が出でくれば満水です。

（ご注意）混合水栓（湯と水が一つの蛇口から出てくる水栓）をご使用の場合は必ずお湯（赤色印）を出す方のハンドルを開いて満水のご確認をしてください。

水が出ないときは

水道管と温水器との間につけられた給水栓が閉じていないか確認し、若し閉じていれば反時計方向に廻して全開してください。

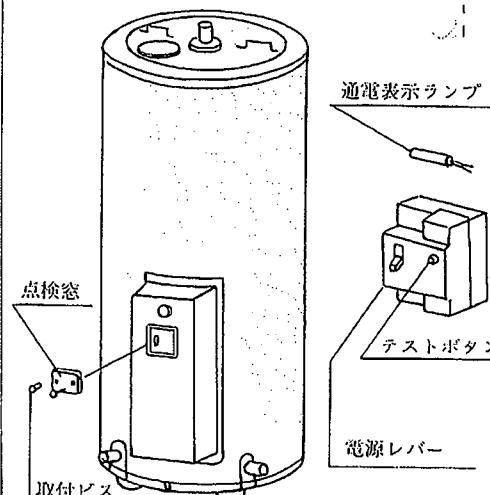


（ご注意）給水栓を開いてもすぐに水が出てこない時がありますが、しばらくそのままでお待ちください。

■

「接地しや断器」のレバーを「ON」にしてください。

満水を確認した上で温水器本体下部の点検窓を開け接地しや断器のレバーを上にあげてください。



（注意）

夜11時に自動的に電気が入り、翌朝7時に自動的に切れます。

（通電の時間は地域によって多少異ります）

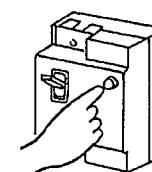
- 5 -

■

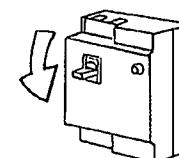
テストボタンを押してください。
電気がきている時に接地しや断器のテ
ストボタンを押し、作動を確認します。

接地しや断器のレバーが下れば正常
です。再び接地しや断器のレバーを上
にします。

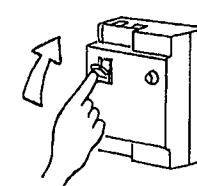
テストボタンを押す



接地しや断器のレバーが下る



接地しや断器のレバーを上にする

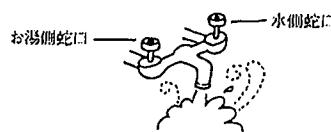


※ これで準備完了です。あとはタイム
スイッチの働きで毎日自動的に通電し、
お湯を沸き上げます。

- 6 -

■ご使用にあたって

■ 給湯蛇口から出るのは熱湯です
ヤケドするおそれがありますので、
ご注意ください。



混合水栓をご使用の場合は、まず給水バルブを開き、徐々に給湯バルブを開いて湯温を調整することが大切です。

■ 安全にご使用していただくために

1. 接地しや断器の作動テスト以外は他の電気部品には手を触れないでください。
2. 本体の近くにガスボンベ・危険物などを置かないでください。

■ 次のような使い方は、湯量不足の原因になりますご注意ください。

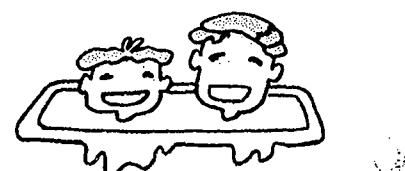
1. 食器洗いや洗濯などで湯を流しつづける。



2. 雑用水に湯を多量に使う(洗車など)



3. 入浴習慣が多い



- 毎回湯の入替えをする。
- 朝夕2回入浴する。
- 深夜電力通電時間中に入浴する。

4. 来客が多い

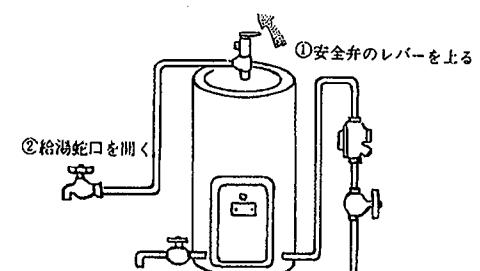


■ 冬期水道管が凍結するところで
は凍結防止対策をしてください。

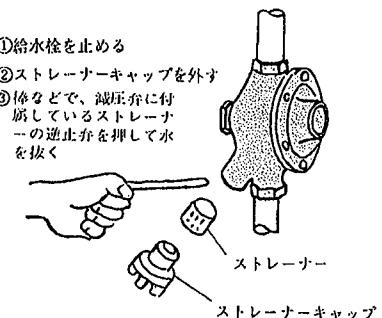
冬期気温が零下になると配管等の凍り易い部分の水が凍り始め、零下の気温が続きますと凍結による体積膨張のため減圧弁等が破壊する恐れがあります。

必ず次に示す方法で配管の水を抜くか、又は凍結防止ヒーターで配管内の水が零下にならない様な施工を販売店にご相談してください。

① 給湯配管の水を抜く



② 減圧弁の水を抜く

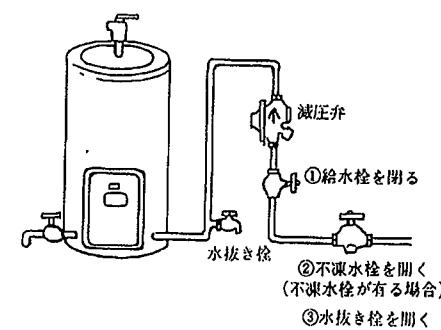


(1) 水抜き方法

凍結防止のために水抜き栓を施工してある場合。

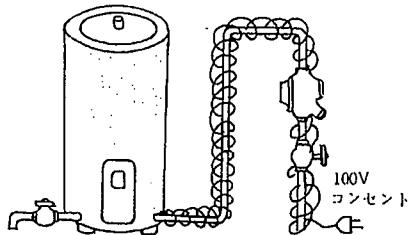
① 給水配管の水を抜く

但し、再びご使用の場合は、元の状態にもどしてください。



（2）凍結防止工事

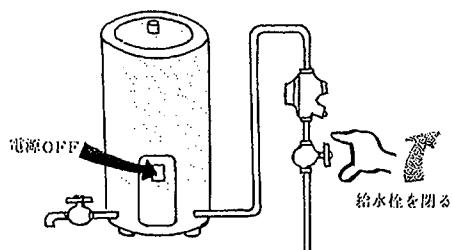
給水配管の凍結防止には、凍結防止ヒーター(電熱)の工事をしてください。



凍結防止ヒーターの工事などについては工事店までご連絡ください。

■長期間ご使用にならないときは

1. 接地しや断器をOFFにして、給水栓を開めてください。

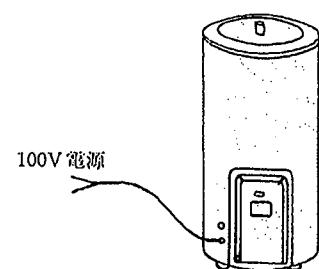


2. 再びご使用の時は、給水栓を開き、接地しや断器をONにします。
約30分程度お湯側蛇口を開いて、タンクの水を入れ替えてください。

■外電防食装置仕様の場合

1. この装置はタンク内のサビを電気的に防ぐものですから、100Vの電源工事がしてあるか確認してください。

この電気配線を忘れますと接地しや断器が動作し、レバーが落ちる構造になっていますので防食用工事は、実に行ってください。



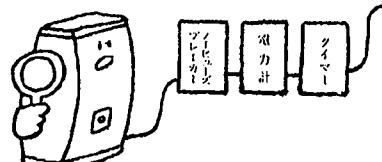
※ 長期ご使用にならないときも防食用電源(100V)は、絶対に切らないでください。

■次のこととは故障ではありません

ご使用中、ご不審な事が生じましたら、次のことを確認のうえ、ただちに使用を中止して、販売店か最寄のセキスイ営業所又は、アフターサービス店へご連絡してください。

■お湯が出ないで水が出てくる

1. 電気温水器とメーターの間にあるノーヒューズブレーカーが入っていますか、入っていない場合は入れてください。

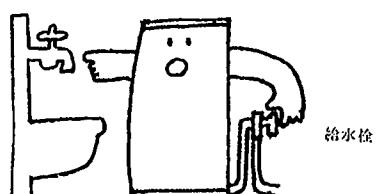


2. 接地しや断器が入っていますか…入っていない場合は入れてください。

※ 雷のとき、接地しや断器が切れる場合がありますが、異常ではありませんので接地しや断器を入れてください。

■お湯も水もまったく出ないとき

1. 給水栓が開いていますか…開いていない場合は開けて下さい。

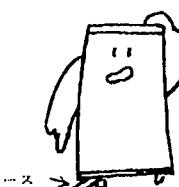


■本体底部(逃し弁)から漏水したとき

1. この部分から水(湯)が流出するときは排水系統に異常が起りタンクの内圧が高くなつたためです…施工店に点検修理を依頼してください。

2. 室内に本体を設置の場合は、床が水ぬれになりますので排水処理をしてください。

3. 但し、ホースの先は開放にし、他の配管とは接続しないでください。



■お湯は出るが量が少ないと

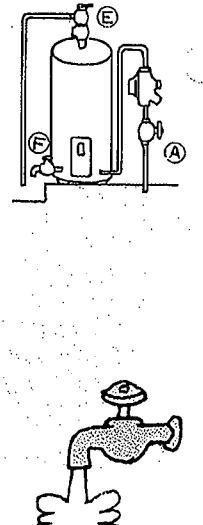
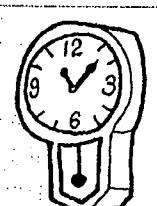
1. 給湯蛇口から湯が漏れていませんか…蛇口を確実に閉めてください。

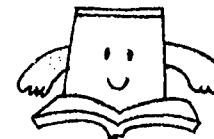
2. 安全弁の排水管から水(湯)が出ていませんか…通電中は水が出ますが、昼間に水が出るのは異常です。

安全弁にゴミなどがつまっている場合がありますので、ゴミを除いてください。(12頁③参照)

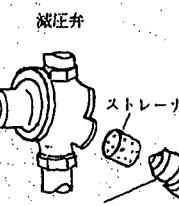
正しい維持管理をお願いします

ふだんのご使用に際しては、まったくのテーマいらずの電気温水器。ところが長い間には、タンク内には「水あか」や「沈殿物」がたまります。より長くご使用していただくために次の点検をお願いします。

項目	時期	方 法
①タンク内の掃除	3～4ヶ月に1回	<p>①接地しゃ断器をOFFにします。 ②給水栓④を閉じます。 ③排水栓⑥を開けます。 ④安全弁⑤のレバーを上にあげて空気が入るようにし、排水が止まるまで水を出してください。 排水の水に、にごりがなくなるまで給水・排水を交互にくり返してください。 ⑤次にタンクを満水にします。排水栓⑥を閉じ、給水栓④を開いて安全弁のレバーを元にもどしてください。 ⑥給湯蛇口から水が出たら満水です。蛇口を閉じ接地しゃ断器を「ON」してください。</p> 
②接地しゃ断器の作動テスト	1ヶ月に1回	<p>①接地しゃ断器は、漏電したときの安全装置です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● テスト要領は6頁③を参照ください。 ● テストは、夜の11時以降通電してから行ってください。 



- 保証書（登録票）は、セキスイへご返送してください。
- 保証書（保存用）は、販売店印・保証内容をご確認のうえ、大切に保存してください。

項目	時期	方 法
③安全弁の動作テスト	1ヶ月に1回	<p>安全弁は、沸き上げ時お湯の膨張圧からタンクを守る安全装置です。長い間には「水アカ」「ゴミ」などがつまつて安全弁のパッキンをキズつける場合があります。</p> <p>①1ヶ月に1度は安全弁⑤のレバーを上にあげ、水を流す動作を数回くり返してください。</p> <p>②テスト後は安全弁の排水管から水が出ないことを確認してください。</p> 
④ストレーナーの掃除 (破損弁に付属している)	湯の出が悪くなった時	<p>①給水栓④を閉じてください。 ②ストレーナーのキャップを外し中のストレーナーを水で洗浄してください。 ③元通りに組込んでください。 ④給水栓④を開けてください。</p> 
⑤防食材（マグネシウム棒）の点検 交換		<p>電気温水器の中にタンクの保護のため、マグネシウム棒（または電気防食）が取付けてあります。</p> <p>このマグネシウム棒は水質にもよりますが、4～5年に1度交換が必要です。この点検・交換についての詳細は、お近くの営業所・サービス店にお問合せください。</p>

■保証とサービスについて



■保証書

必ず「販売店印、保証期間」をご確認のうえ、販売店からお受け取りいただき、よくお読みの上、大切に保存してください。

■保証内容

保証期間は据付日から1年間です。ただし、缶体については5年間です。

正常なご使用状態でこの期間内に万一、故障を生じた場合は、保証書の記載事項にもとづきお求めの販売店で「無償修理」いたします。

■点検と修理

- 1 少しでも不審な点がありましたら使用を中止して販売店(セキスイ)などに点検を依頼してください。
- 2 修理には、特殊な技術が必要です。故障のときは必ず販売店(セキスイ)に依頼してください。
- 3 本品をより長くご使用いただくために、防食装置の点検、その他部品の点検をおすすめします。
据付後1~2年に1度販売店(セキスイ)などに点検をご依頼ください。

■仕様

機種 項目	MS-30E	MS-37E2	MS-46E
タンク容量	300ℓ	370ℓ	460ℓ
定格電圧	単相 200V 50/60Hz		
消費電力	3.4kw	4.4kw	5.4kw
外形寸法	1,509mm×672mm	1,782mm×672mm	1,850mm×732mm
重量(満水重量)	88kg(388kg)	101kg(471kg)	116kg(576kg)
沸上り温度	約85℃		
給水方式	下部給水押上げ方式		
型式認可番号	▼81-5868		▼81-6869
発熱体	シーズヒーター		
温度制御	サーモスタット(バイメタル式)		
安全装置	接地しや断器・温度過界防止器・アース棒(減圧弁・安全弁・絶縁パイプ)()内は、別売部品		
スイッチ	接地しや断器		
防食装置	マグネシウム棒		